

プロボクシング 4月～試合結果

■丸田陽七太 判定 完封勝ち

3-0(80-72,80-72,80-72)

5月1日(水祝)東京・後楽園ホール

フェザー級(57.1 kg) 8回戦

丸田陽七太(森岡)VS コーチ義人(Reason 大貴)



コーチが懐の深い丸田との距離を探るが、立ち上がりは
どうにも体が硬く、長身の丸田にジャブを散らされた。

2回に入ると丸田はスピードでも差をつけ、ジャブ、
ワンツートをヒット。コーチもジャブを突いて圧力を掛けると

丸田の打ち終わりに右を打ち込んだが、ポイントを奪うまでには、至らなかった。丸田はカウンターを狙われている
だけに、なかなか右を打ち込めず左一辺倒になっていたが、4回に入ると角度のある左を使い、中に入りたいコー
チの出鼻を捉えた。コーチも丸田のワンツースリーに左フックを合わせるが、その先の攻撃に繋がらず、6回にワン
ツートを痛打され腰を落とすと、その後もジャブでコントロールされた。丸田は距離を潰されても左ボディを返し、コー
チの左フックはしっかりとガード。終盤もジャブでリズムを刻み、要所で右ストレートを効かせた。コーチは丸田のスピ
ードの前に攻撃力を活かさないまま、最終8回には一方的に右を浴び完封された。(ボクシングモバイルより)

丸田陽七太ブログ・・・高校2年のプロテスト合格した日から、毎日ブログ更新！

<http://ameblo.jp/maruta-hinata/>

■岩井尚斗 判定 勝ち

3-0(77-75,77-76,77-76)

4月20日(土)エディオンアリーナ第二競技場

S・フライ級(52.1 kg) 8回戦

岩井尚斗(森岡)VS 浅海勝太(ハラダ)



サウスポーの岩井は足でリズムを作ると、踏み込む浅海に左を合わせる。

一方浅海は上体を振り、右ボディを強振していく。中盤、足を使う岩井がペースを握った。浅海は低い姿勢で踏
み込むが岩井に体を交わされた。後半に入っても岩井はジャブと足で距離を支配して試合をコントロールした。岩
井が判定で勝利を収めた。(ボクシングモバイルより)

■森田翔大 2ラウンドKO勝ち

4月21日(日)エディオンアリーナ第二競技場

バンタム級(53.5 kg) 4回戦 西日本新人王予選

森田翔大(森岡)VS 山田定幸(WOZ)

2R 2分 43秒 KO勝ち



森田が左を軸に出入りのボクシングを展開。6戦目で初勝利が

欲しい山田は2回にプレスをかけて右フックを好打。これをきっかけに打撃戦に突入したが、森田の回
転力が上回ると連打でダメージを与える。森田は右ボディでくの字にさせると右をフォローし先制のダウ
ンを演出。山田は苦悶の表情を浮かべて10カウントを聞いた。(ボクシングモバイルより)